新技術概要説明資料(1/5)

						登錄	录No.	17	760
カ イL・	ソルティザードンフテル工法			収受受付年月日		令和4年5月30日			
名称	ソルティガードシステム工法				•	変更受付年月日		14 117 2 1	37,331.
副題	超遮塩性塩害対策塗装工法				開発年		2020年		
区分	■1. 工法 □2. 機械 □3. 材料 □4. 製品 □5. その他						番号:		1
分類	1-3-7. 道路/橋໑	2.							
	■ 1. 安全・安心		■ 5. 公共工事	4の品質の	確保・向上			1	
キーワード	■ 2.環境 □ 6.景観						2		
キーリート	□ 3.情報化		□ 7. 伝統・歴	₹史・文化	1k			4	
	■ 4. コスト縮減・生産性の向上 □ 8. リサイクル						番号:	5	
园. 表译沙。				,•	₩ 43.42. F				事 公()
国土交通省へ の登録状況	申請地方整備局		登録年月日		登録番号			事前・事	
	関東地方整備	i局	申請中				計	猫無し	
	□1. 省人化 ■5. 耐久性向上 □9. 地球環境への影響			は環境への影響:			3 5	8	
開発目標	□2. 省力化		■6. 安全性向上	□10.省	資源・省エネル	源・省エネルギー			11
(選択)	■3.経済性向上		■7. 作業環境の向上	■11. 品	質の向上			6	
	□4. 施工精度向」	<u>-</u>	■8. 周辺環境への影響抑制	□12. IJ	サイクル性向上	_	番号:	7	
	従来技術名:		Rc-Ⅰ(鋼道路橋	所食便	更覧)				
					下 (24.6%)	番号:			4.6
	2. 工程 □1. 短縮 (%) □2. 同程度 □3. 増加 (%)				番号:	1	4	40	
活用の効果			向上 □2. 同程度 □3. 低			番号:	1		
	4. 安全性 5. 施工性		向上 □2. 同程度 □3. 低			番号: 番号:	1 1		
	5. 施工性 ■1. 向上 □2. 同程度 □3. 低下 6. 環境 ■1. 向上 □2. 同程度 □3. 低下			番号:	1				
	7. その他			1		番号:	1		
開発体制			研究(民民) □2(2)共同研究	(民官)	□2(3)共同研究		番号:		1
開発会社	一般社団法人鋼 橋塩害対策協会		販売会社 一般社団法人鋼橋塩	[害対策協会	協会名	一般社[団法人鋼楠	喬塩害丸	対策協会
		会社	名:		住所:				
	技術	구브 기				市新居町内山319番地の4			
		担当	i部署 : 本部事務局		053-489-6676 053-525-9932				
		扣斗	「AAA : mail:				zuki @ssgkyoukai . com		
問合せ先		1	望月 勇次		marr				
同古せ元	<u></u>		名:		住所:				
	営業					市金森東2-4-11			
			部署:			03-4405-9290			
			関東事務局 活名:	FAX: mail:	yamamot o@ssgkyoukai.com				
		1브 =	山本 崇史		шатт.	yamamot owssgkyoukai.com			
	①何について	何を	する技術なのか?						
(概要)	・下塗に異方性金属塗料を複数配合することでバリヤー性に優れ腐食因子を完全遮断。								
	柔軟でしなやかな塗膜を形成し下地への追従性に優れ、経年での付着性低下が生じな								
	い。汚染性に優れる上塗塗膜のセルフクリーニング機能により高外観を維持し、腐食因								
	子の滞留を防ぐ。これら下塗と上塗のW効果により超長期にわたり鋼材を腐食から守								
	る。 ②従来はどのような技術で対応していたのか?								
	・鋼道路橋防食便覧におけるRc-Iの塗装系。								
	③公共工事のどこに適用できるのか?								
	・屋外鋼構造物全般及び塩害地区の塗替え塗装など。								

新技術概要説明資料(2/5)

新技術名称 | ソルティガードシステム工法 | 登録No. 1760

(特 徴)

(長 所)

- ・金属バリヤー効果で腐食因子を遮断(超遮塩性)
- ・-5℃で施工可能(低温施工可能)
- ・ふっ素膜厚60μmによる長期耐候性の実現(超厚膜高耐候性ふっ素)
- ・省工程によるVOCの排出削減(環境対応型)
- ・省工程による工期・足場費用・交通規制削減

(短 所)

・ 常時湿潤状態及び没水環境には使用不可

(施工方法)

【素地調整】

・1種ケレン(ブラスト工法)にて旧塗膜や錆などを除去し、表面粗さを形成する。

【塗装作業】

- ・主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にしてから使用して下さい。
- ・希釈には塗料用シンナーを使用して下さい。
- ・エアレスにて塗装します。 (従来技術と同様の施工が可能です。)
- ・塗装時においては過度な希釈を避け、所定の量を規定の膜厚にて塗布して下さい。また、 混合後可使時間を超えてしまった塗料は使用出来ません。
- ・既定の塗装間隔以上が経過した場合は、塗膜表面をサンドペーパーなどにて研磨し、さらにウエスにて拭いて調整してから塗装して下さい。

(施工単価等)	□1(1).歩掛りあり(標準)	■1(2).歩掛りあり(暫定)	□2. 歩掛りなし	1 (2)
掲載刊行物	建設物価(無)	掲載品目()
161取 11 170	積算資料 (無)	掲載品目()
その他 (カタログなど)	自	社材工積算価格)	

積算資料等

• 積算条件:自社歩掛

· 労務単価:令和4年 公共工事設計労務単価 静岡価格参照

• 材料単価:自社価格

施工管理基準資料等

塗装仕様書【カタログ】

新技術概要説明資料 (3/5)						
新技術名称	ソルティガードシステム工法		登録No.	1760		
(適用条件)			•			
(適用できる 【自然条件】 【現場条件】 【技術提供可	・降雨降雪時、被塗物表面が結 ・気温-5℃以上、40℃未満にて ・炎天下、気温30℃を超える条 ・足場等により塗装作業性が確 能地域】・技術提供可能地域に	「施工可能。 ☆件での長時間屋外保管♪ ■保出来ること。				
(適用できな ・没水部	い条件)					
(設計上の留【設計時】・特になし	意点)					
(施丁上・使	用上の留意点)					
【施工時】	、被塗物の付着塩分量が50mg/n	㎡以下であることを確認	の上、塗装を行	了って下さい。		
(残された課	題と今後の開発計画)					
【残された課 【対応計画】 (実験等作業	<u> </u>					
1. 耐中性塩 結果:10,0 2. 人工海水	水噴霧試験(SST、JIS K 5600- 000時間試験後付着強度:6.95Mg 浸漬試験(JIS K 5600-6-1) 000時間試験後付着強度:6.95Mg	oa 付着強度保持率:96				
その他						
特許	□1. 有り(番号:) □2. 出願中	□3. 出願予定 □4:無し	番号	4		
Д П Д			特許番号	4		
実用新案	□1. 有り(番号:) □2. 出願中	□3. 出願予定 □4:無し	<u>番号</u> 新案番号	4		
	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明				
	証明年月日 証明年月日					
評価・証明						
	制度等の名称	証明機関				
	判廃祭の夕新	制度等の名称				
	制度等の名称					
その他の	制度名、番号	制度名、番号				
制度等に	証明年月日	証明年月日				
よる証明						
	証明機関	証明機関				
	証明範囲	証明範囲				
	HT-71 平位区1	Hエン 早日				

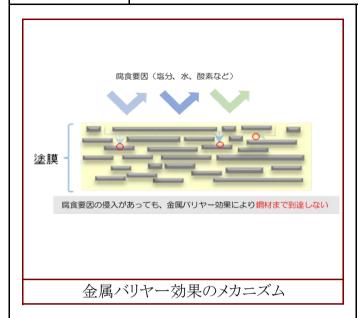
新技術概要説明資料(4/5)

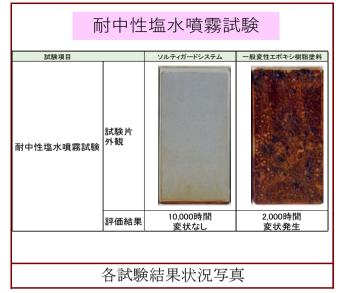
	新技術名称	メルティガート	月 <u>資料 (4/5)</u> ドシステム工法		登録No.	1760
	実績件数	公共機関:	0	民間:	0	
	発 注 者	施工時期		工事名		登録No.
+/-						
施工実績						
美績						

新技術名称 ソルティガードシステム工法

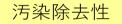
登録No.

6









◆防汚層の形成により汚染除去性に優れる





各試験結果状況写真

